



JAMS NEWS

日本経営システム学会

<http://www.jams-web.jp/>

日本経営システム学会 第52回全国研究発表大会のご案内

会員の皆様には、時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、日本経営システム学会第52回全国研究発表大会は、平成26年6月14日（土）、15日（日）に法政大学（市ヶ谷キャンパス）にて開催されます。つきましては、多くの会員のご参加およびご発表を心よりお待ちしております。何卒宜しくお願い申し上げます。

記

開催日：平成26年6月14日（土）、15日（日）

開催場所：法政大学 市ヶ谷キャンパス

〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1

<http://www.hosei.ac.jp/access/ichigaya.html>

連絡先：実行委員長 法政大学 石島 隆

E-Mail : ishijima@im.i.hosei.ac.jp

統一論題：「不正・改ざん・偽装に対応するための経営システム」

基調講演：「消費者庁と企業コンプライアンス」

消費者庁審議官 河津 司 氏

特別講演：「中国・インドネシア・アジア頭脳人財の育成と活用

～21世紀を拓く”イノベーション”と”東アジア”～

南富士株式会社 代表取締役 杉山 定久 氏

参加費：会員 5,000 円、非会員 6,000 円、学生会員 3,000 円（当日支払いは 1,000 円高）

非会員の学生は当日支払いの学生会員と同額の 4,000 円

懇親会費：会員 5,000 円、非会員 6,000 円、学生 3,000 円（当日支払いは 1,000 円高）

昼食：近隣の飲食店、コンビニ等をご利用ください。14日（土）は学内の食堂も利用可能です。

宿泊等：大学近くに「アルカディア市ヶ谷」などのホテルがありますので、各自でご予約ください。

参加申込：本 JAMS NEWS に同封の振込用紙にて、6月6日（金）までに上記金額をお振り込みください。期限後に振込みされた方は、当日振込用紙の控えまたはコピーをお持ちください。

■発表者の方へ（会場設備について）

すべての発表会場に PC とプロジェクタが設置されていますので、原則として会場の設備をご利用ください。デジタルデータを USB メモリーに入れてお持ちください。特殊なソフトをご使用の場合は、ノート PC をお持ち込みいただくことも可能ですが、コネクタの接続が必要になり、準備に時間がかかりますので、ご注意ください。

■学生発表優秀賞について

当学会では、学生セッションの研究発表を審査して優秀な発表には「学生発表優秀賞」を授与しています。学生であれば、正会員・学生会員を問わず、学生セッションの研究発表は審査の対象となります。ただし、下記の点にご留意下さい（もし、ご不明な点がございましたら、学会事務局にお問い合わせ下さい）。

- ・学生セッションの発表は、原則として正会員（一般的には指導教員）との連名とし、ファースト・オーサーは学生とする。
- ・学生発表優秀賞の受賞対象者は、ファースト・オーサーの学生のみとする。
- ・学生セッションの発表原稿は、会員の種別を問わず 2 頁とする。

■大会会場へのアクセス

- 【JR線】 総武線：市ヶ谷駅または飯田橋駅下車徒歩 10分
- 【地下鉄線】 都営新宿線：市ヶ谷駅下車徒歩 10分
- 【地下鉄線】 東京メトロ有楽町線：市ヶ谷駅または飯田橋駅下車徒歩 10分
- 【地下鉄線】 東京メトロ東西線：飯田橋駅下車徒歩 10分
- 【地下鉄線】 東京メトロ南北線：市ヶ谷駅または飯田橋駅下車徒歩 10分
- 【地下鉄線】 都営大江戸線：飯田橋駅下車徒歩 10分

主なターミナルからの交通アクセス

18	東京駅	JR中央線快速 約4分	御茶ノ水駅	JR総武線 約4分	飯田橋駅	徒歩 約10分
20	新宿駅	JR総武線 約10分			市ヶ谷駅	徒歩 約10分
20	池袋駅	地下鉄有楽町線 約10分			飯田橋駅	徒歩 約10分
19	渋谷駅	地下鉄半蔵門線 約6分	永田町駅	地下鉄有楽町線 約3分	市ヶ谷駅	徒歩 約10分
20	上野駅	JR山手線 約4分	秋葉原駅	JR総武線 約6分	飯田橋駅	徒歩 約10分

市ヶ谷キャンパス

内の数字は、総所要時間(乗り換え時間を除く)を表す。

大会ページ：<http://www.jams-web.jp/information/2014spring.html>

交通アクセス：<http://www.hosei.ac.jp/access/ichigaya.html>

キャンパスマップ：<http://www.hosei.ac.jp/gaiyo/campus/ichigaya/index.html>

■学会発表に関する原則について

当学会では、研究発表大会をスムーズに運営するために、口頭発表に関して以下に示すような原則（学会ホームページ <http://www.jams-web.jp/information/prerule.html>）に従って運営しています。口頭発表を申し込まれる前にご確認ください。なお、この原則は、大会委員会および大会実行委員会により運用されます。不明な点がございましたら、学会事務局へお問い合わせください。

1. セッションの種類と発表の資格

一般セッションでは、正会員だけが口頭発表できます。学生セッションは、大学院生であれば、正会員・学生会員ともに口頭発表できます。

2. 学生会員の発表条件

学生会員は正会員と連名でなくては、どのセッションでも発表できません。

3. 連名者の資格

研究発表の連名者は、全員会員でなくてはなりません。また、大会当日は、連名者も大会に参加することを原則とします。

4. 発表件数の制約

同一のファースト・オーサーによる研究発表は、3件目からは1件あたり5,000円を徴収します。

5. 口頭発表者の参加費支払い

口頭発表者は、発表原稿の提出時に参加費を支払うものとします。

6. 参加費の返還について

既納の参加費は、理由のいかんを問わず返還しませんのでご注意ください。

7. 発表のキャンセルと無断欠席

大会直前に発表キャンセルや無断欠席をされた場合には、次回以降の発表をお断りすることがありますので、十分ご注意ください。

第52回 日本経営システム学会 全国研究発表大会 プログラム (2014/5/12)

(開催日：平成26年6月14日(土)、15日(日) 会場：法政大学 市ヶ谷キャンパス)

【6月14日(土)】 受付開始 10:00～ (補講：ポアンナードタワー 1階 エレベーター前)

時間	10:30～11:00	11:00～11:30	11:30～12:10
内容	新一年度役員 5階501教室 評議員会		
内容	理事会	休 憩	休 憩

時間	13:00～13:05	13:05～14:00	14:00～14:05	14:05～15:05	15:05～15:20
内容	ポアンナードタワー 20階 スカイホール 実行委員長挨拶 法政大学 石島 隆 会長挨拶 関西学院大学 石井 博昭	総会	休 憩	休 憩	休 憩
内容	基調講演：「消費行と企業コンプライアンス」 消費生活審判官 河津 司 司会：山下 洋史 (明治大学)				

時間	A会場 (一般：55/58/59年館 6階684)	B会場 (一般：55/58/59年館 6階687)	C会場 (一般：55/58/59年館 6階866)	D会場 (一般：55/58/59年館 6階865)	E会場 (一般：55/58/59年館 6階564)	時間	F会場 (学生：55/58/59年館 6階562)	G会場 (学生：55/58/59年館 6階561)
15:20～15:50	空間理論に基づいた中国経済発展の 重低賃金輸出モデルに関する研究 *上海高源投資コン サルチヤング 早稲田大学 何 曉 穎 滝口 学	市倉 信 義 熊谷 敏 敏 *青山学院大学 青山学院大学	職業性ストレスが組織コミュニティメン トに及ぼす影響-ネットワークエン ジニアの視点- *明星大学 石橋 真人	利失表を用いた決定理論の一考察 *甲南大学 吉川 歩	国内外の飲食品の官能表現の分析 *立命館大学 立命館大学 前川 知 浩 小田 智 明	15:30～15:50	DEAを用いた大学における環境効率 指標の提案 *東海大学 東海大学 東海大学 松井 俊 幸 小村 和 彦 水野 浩 孝	評定者と履修定者の関係性(注目し た進路選択に対する自己効力感)に關 する分析モデル *愛知淑徳大学 愛知淑徳大学 明治大学 福田 紗 也 上原 衛 山下 洋 史
15:50～16:20	オントロニー工学を用いた機能定 義とEffects選択方法 *早稲田大学 (株)IH 牧野 公一 津口 学 宮田 仁 奈	監査報告書の財務諸表利用への影 響に關する実験 *明治大学 中野 雅 史	マーチの相互学習モデルにおける優 系グループについて *琉球大学 志村 健一	自治体経営における専長と議会の力 ハナンス *東京大学 本田 正 美	企業倫理の有効性の検証 *駒澤大学 鈴木 貴 大	15:50～16:10	自己評価と他人評価の差額に注目し た進路選択に対する自己効力感の分 析モデル *愛知淑徳大学 愛知淑徳大学 愛知淑徳大学 明治大学 福田 紗 也 鄭 年 皓 上原 衛 山下 洋 史	経営品質科学研究部会： 学級経営の「小さな王国」における 情報的非対称性と内部-外部エネ ルギ一 *明治大学 明治大学 明治大学 下林 大 造 榎 善 嘉 山下 洋 史
16:20～16:30	休 憩	休 憩	休 憩	休 憩	休 憩	16:10～16:30	災害データベースの活用 *名古屋工業大学 名古屋工業大学 小野 高 宏 渡辺 研 司	

時間	16:30～17:30	17:30～18:00	18:00～19:30
内容	ポアンナードタワー 20階 スカイホール 特別講演：「中国・インドネシア・アジア顕微鏡人の育成と活用 ～21世紀を拓く「イノベーション」と「東アジア」～」 南富士株式会社 代表取締役 杉山 定久 司会：石島 隆 (法政大学)	休 憩	懇 親 会 (ポアンナードタワー 20階 スカイホール) (懇親会会場設置)

【6月15日(日)午前】 受付開始 8:30～ (場所: ポアソナー・タワー 1階 エレベーター前)

時間	A会場 (一般: 55/58年層 6階66A)	B会場 (一般: 55/58年層 6階667)	C会場 (一般: 55/58年層 6階666)	D会場 (一般: 55/58年層 6階665)	E会場 (6/15は発表なし)	時間	F会場 (学生: 55/58年層 6階562)	G会場 (学生: 55/58年層 6階561)
9:00~9:30	顧客サービスにおけるマネジメントと業績との関係分析 *九州産業大学 森下 俊一郎	研究開発プロセスにおける外部知識導入の効果に関する研究 *東北大学 真崎 真 *東北大学 長平 彰夫	モジュール最適化とインターフェースの問題解決 *神戸学院大学 今野 勤	中小企業向け環境マネジメントシステム認証制度「エコステージ1」の現状と課題 *東京理科大学 中尾 宏 *京都大学 張 凌韻	併買力を考慮した商品陳列販売順位決定 ~10-05データ分析と新たな併買カマッポの構築~ *青山学院大学 佐野 圭太	9:00~9:20	9:20~9:40	下水運送事業の地方公営企業法適用に向けた固定資産管理方法の改善 *芝浦工業大学 辻 諭 *芝浦工業大学 平田 貞代
9:30~10:00	制度に翻転された各社下における事業展開プロセス-在宅介護サービス事業のケース- *法政大学 菅野 雅子	研究開発プロセスにおける外部知識導入の効果に関する研究 *東北大学 真崎 真 *東北大学 長平 彰夫	共通ソリューション集約開発の採択条件 *共栄学園前橋国際大学 村山 賢哉 *愛知淑徳大学 鄭 年皓 *明治大学 山下 洋史	経営品質科学研究所: 環境志向型行動と地球環境のサステナビリティ *共栄学園前橋国際大学 村山 賢哉 *愛知淑徳大学 鄭 年皓 *明治大学 山下 洋史	併買力を考慮した商品陳列販売順位決定 ~10-05データ分析と新たな併買カマッポの構築~ *青山学院大学 佐野 圭太	9:40~10:00	10:00~10:30	多段階サプライチェーンにおけるサプライヤー選択のための多目的線形モデル *神奈川大学 藤野 佑輔 *神奈川大学 松丸 正延 *神奈川大学 藤野 佑輔 *神奈川大学 松丸 正延
10:00~10:40	トランクリティティに基づく会話型運送的アルゴリズム *早稲田大学 藤 誠 *明治大学 山下 洋史 *早稲田大学 大野 高裕	11月活用を通じた中小企業の自律的経営志向に関する試み-危機的な状況を迎えつつある業界に属する企業の事例から- *横浜創英大学 三浦 達也 *横浜創英大学 三浦 達也	経営品質科学研究所: アメーハ組織に焦点を当てた代替的2段階双対性フレームワーク *明治大学 村山 誠 *明治大学 山下 洋史	経営品質科学研究所: アメーハ組織に焦点を当てた代替的2段階双対性フレームワーク *明治大学 村山 誠 *明治大学 山下 洋史	併買力を考慮した商品陳列販売順位決定 ~10-05データ分析と新たな併買カマッポの構築~ *青山学院大学 佐野 圭太	10:10~10:30	10:30~10:50	医療専門職認定制度についての提案-診療放射線技師認定専門技師の事例- *立命館大学 片桐 初彦 *立命館大学 名取 隆
10:40~11:10	異なるタイプの在庫量が企業パフォーマンスに与える影響 *北海道大学 鎌田 直夫	商店街の活用に対する評価方法の検討 *横浜国立大学 永松 隆明 *横浜商科大学 柳田 義継	車載組み込みソフトウェア開発における古環境の活性化に対する組織的サポート領域における自動車部品メーカー対比リテライ・フレームワーク *愛知淑徳大学 鄭 年皓 *愛知淑徳大学 上原 衛 *山梨学院大学 金子 勝一 *明治大学 山下 洋史	経営品質科学研究所: アメーハ組織に焦点を当てた代替的2段階双対性フレームワーク *明治大学 村山 誠 *明治大学 山下 洋史	併買力を考慮した商品陳列販売順位決定 ~10-05データ分析と新たな併買カマッポの構築~ *青山学院大学 佐野 圭太	10:50~11:10	11:10~11:20	中堅化学系企業におけるルーティンに関する研究 (~人の心理がGoogle Glassの購買意欲に与える影響~) *立命館大学 吉澤 諒 *立命館大学 平田 貞代 *立命館大学 岩崎 之勇 *立命館大学 名取 隆

【6月15日(日)午前】 11:20~

時間	A会場 (一般:55/58年組 6階66A) 情報精算法による定量的な製品企画手法 *泉精磨製作所 早稲田大学 泉 丙完 澤口 亨	B会場 (一般:55/58年組 6階67) 秋田県内企業の戦略的IT活用と情報システムの特徴と課題 *秋田県立大学 工藤 周平	C会場 (一般:55/58年組 6階66) Corporate Culture Impact Assessments to Information Security Incidents *College of Alimbarak Computer Science and Information, Yahya A AI-IMAM Tokyo University, Riyadh Nobutooshi of Information HATAMKA Sciences	D会場 (一般:55/58年組 6階66E) 経営品質科学研究部会: 食品のラベリング効果に関する偶然性と偶然性のファジィ情報モデル *明治大学 明治大学 権 善喜 山下 洋史	E会場 (6/15は発表なし)	F会場 (学生:55/58年組 6階56Z) ペイジアンネットワークを用いた産業購買手法予測モデル *慶義塾大学 安田 照 栗 重明 慶義塾大学	G会場 (学生:55/58年組 6階56I) 産学連携型ITと大学教育段階別一価共創パラダイム *常磐大学 村中 均
11:20~11:50							
11:50~12:20	アンジュランスケースを用いた業務の品質保証方法の提案 小林 延至 *加藤製作所	被災地と消費地をつなぐeビジネスモデルの提案 藤原 正樹 *宮城大学	中小企業における情報セキュリティ投資についての考察 江島 将和 *エドコンサルティ ング	経営品質科学研究部会: 学習経過時間を考慮した内容的価値と占有的価値の情報可カモデル 山下 洋史 権 善喜 郷 年略 *明治大学 明治大学 愛知淑徳大学		日本のスーパーマーケットにおける飛躍しアウトと読売力の考察 *福島大学 福島大学 福島大学 福島大学 本田 雅雄 中野 真一郎 樋口 良之	商・経営学部の情報教育におけるゲーミフィケーション適用基本設計 *横浜国立大学 東京工業大学 永松 健明 藤 祐司
12:20~13:20	休 憩						

【6月15日(日)午後】 13:20~

時間	A会場 (一般:55/58年組 6階66A) プレキャスト工場の生産管理の改善 *芝浦工業大学 菅谷 和人 平田 貞代 芝浦工業大学	B会場 (一般:55/58年組 6階67) 半導体製造装置の地震リスクと対策効果の定量評価 *大成建設 藤田 香織	C会場 (一般:55/58年組 6階66) HerzbergのM因子とH因子による「組織活性化のカスタムロワイヤール」の分業要因としての無関心度指教 *愛知淑徳大学 上原 衛	D会場 (一般:55/58年組 6階66E) 経営品質科学研究部会: 「学生の県内思考」と都市のプロファイルとの関係 *明治大学 明治大学 山下 洋史 下林 大造 権 善喜	E会場 (6/15はセッションなし)	F会場 (学生:55/58年組 6階56Z) 020領域における先進事例をもとにしたマーケティング戦略に関する一考察ー消費者の情報化を活用した戦略プロセス形成に向けてー *横浜国立大学 金森 孝浩	G会場 (学生:55/58年組 6階56I) 理工系大学におけるリーディング教育の測定に関する研究 *東京工業大学 明治大学 増田 茂 中野 雅史
13:20~13:50							
13:50~14:20	デジタルカメラにおける技術とデザイン戦略 *立命館大学 立命館大学 後藤 智 石田 修一	企業の事業継続マネジメント(BCM)に求められる組織およびプロセスのコンピタンス *名古屋工業大学 渡辺 研司	国内大学の科学技術コミュニケーションにおける被災地におけるBRT(ハイスピード輸送システム)化のシナリオ *九州大学 東北大学 小林 俊哉 長平 彰夫	経営品質科学研究部会: 東北地方の被災地におけるBRT(ハイスピード輸送システム)化のシナリオ 金子 勝一 山下 洋史 権 善喜 *山梨学院大学 明治大学 明治大学		動的な効用のバターン分析 *東海大学 中央大学 早稲田大学 田畑 智章 生田 崇 大野 高裕	自己開発型カンニング・フリー試験の試み *中京学院大学 津井 達雄

平成 25 年度第 4 回理事会のまとめ

- I. 開催日時：2014 年 3 月 13 日（木）、14 時 00 分～15 時 30 分
- II. 開催場所：関西学院大学 東京丸の内キャンパス ランバスホール
- III. 出席者：石井、小田、今井、金子、佐々木、佐藤、林、原田、福井、毛利、柳田、石田、上原、椎原、西口、野口、水野、村山（監事）松丸（敬称略）
- IV. 審議事項
1. 平成 25 年度第 3 回理事会議事録の確認（毛利）：第 3 回議事録が報告され、原案の通り承認された。
 2. 会員の入退会（毛利）：入退会の状況について説明がなされ、承認された。これにより、正会員 547 名、学生会員 134 名となった。
 3. 第 52 回全国研究発表大会の準備状況について（柳田）：第 52 回全国研究発表大会の準備状況について報告がなされた。日程は 6 月 14,15 日とし、申し込み日程の広報を早急に行うことを確認し承認された。
 4. 第 53 回全国研究発表大会の準備状況について（小田）：第 53 回全国研究発表大会の準備状況について説明がなされ、承認された。日程については 10 月 18, 19 日とし愛知工業大学名古屋自由ヶ丘キャンパスにて開催されることになった。また、非会員の発表資格についての提案があり、次回理事会において具体的な案を提示し議論することとなった。
 5. ICBI2014 の準備状況について（佐藤）：ICBI2014 の準備状況について説明がなされ、発表申し込み締め切りを 3 月 31 日に延長することとし承認された。
 7. 総会資料の作成について（毛利）：各委員長、支部長への活動計画等の依頼の説明がされ、承認された。
 8. 総会および評議員会の開催について（毛利）：議題予定等の説明がなされ承認された。
 9. シニア会員について（小田）：資料に基づき説明があり、会員の生年月日データが揃っていないことから会員の年齢構成の確認はせず具体的なシニア会員案を小田副会長、組織委員会を中心に策定することとし継続審議とすることとなった。
 10. 経営関連学会協議会からの書物購入の依頼について（椎原）：資料に基づき説明があり、学会の負担での書籍購入が承認された。なお購入した 6 冊の書籍の取り扱いについてはその時の会長に一任とした。
 11. 名誉会員の推薦について（石井）：石原辰雄氏（東海大学）の名誉会員への推薦が承認された。
- V. 報告事項
1. 第 51 回全国研究発表大会の開催結果について（村山）：資料に基づき説明がなされた。
 2. 学生発表優秀賞について（林）：資料に基づき説明がなされた。
 3. 学会賞、論文奨励賞選考 WG 設置（林）：資料に基づき説明がなされた。
 4. 学会誌の編集状況について（金子）：学会誌編集状況について報告がなされた。
 5. IJAMS の投稿状況について（毛利）：IJAMS 誌編集状況について報告がなされた。なお投稿については常時受け付けており査読が済めば掲載すること、また Vol.5 を電子ジャーナルとして第 52 回全国研究発表大会までに公開する予定である。
 6. 他学会への協賛について（佐藤）：資料に基づき説明がなされた。
 7. その他：横幹連合の役員として板倉先生を推薦したとの報告がなされた（石井）

JAMS/JAIMS ICBI 2014 セッション司会者及び参加者募集のお知らせ

予てお知らせしましたように国際大会 ICBI 2014 を 2014 年 9 月 2 日から 4 日迄、Hawaii, USA にて開催します。大会の発表セッションは 9 月 3 日に行われます。各セッション(90 分)の司会をしてくださる当日の司会者を公募します。5 月末日迄に下記より事前参加登録をして、参加費(3 万円)を納入して頂くことが条件です。会員・非会員、発表の有無を問いません。司会者の御芳名は発表者同様にプログラムに掲載されます。御引受頂ける方は実行委員会(ICBI2014@gmail.com)迄お知らせください。締切は 5 月末日です。併せて、大会参加者を募集しています。参加費が割安になる事前参加申込の締切は 5 月末日です。奮っての御参加をお待ち申し上げます。

開催日	2014 年 9 月 2 日～4 日
開催場所	米国ハワイ州ホノルル市 JAIMS 校舎
統一論題	“Management Systems for Cooperative Business Applications”
大会ページ	http://www.jams-web.jp/information/icbi2014/

参加登録ページ <http://www.jams-web.jp/information/icbi2014/mailicbi2014regist.html>
事前参加登録締切 2014年5月31日
参加費 (昼食・懇親会費を含む)事前登録3万円、当日現地申込4万円。参加費は予稿 USBメモリ、予稿掲載料、大会当日の会場費・昼食・レセプションを含む。
大会運営委員長 石井博昭(本学会会長、関西学院大学)、Blair M. T. Odo, Ph.D (JAIMS 校長)
大会実行委員長 佐藤修(東京経済大学)、Blair M. T. Odo, Ph.D (JAIMS 校長)
実行委員 柳田義継(本学会大会委員会委員長、横浜商科大学)、佐々木桐子(本学会大会委員会副委員長、新潟国際情報大学)、立川大和(戸板女子短期大学)、寺本佳苗(富山短期大学)、立川丈夫(横浜商科大学)
問い合わせ先 ICBI2014 実行委員会(ICBI2014@gmail.com)

中部支部総会開催案内

学会支部の活動に大変ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。今回、下記の要領にて日本経営システム学会中部支部総会を開催いたします。多数ご参加下さい。講演部分につきましては、公開講座として一般の方にも聞いていただきます。

日時：2014年5月29日(木) 16時から17時20分頃まで。
会場：愛知工業大学 本山キャンパス 4階 404&405室
〒464-0807 名古屋市千種区東山通 1-38-1 Tel:(052)789-1381 Fax:(052)782-5066
交通アクセス：地下鉄東山線「本山」駅で下車 4番出口すぐ
スケジュール：受付開始 15時50分 支部総会 16時から16時40分
議題 1：平成25年度決算報告 2：平成25年度事業報告 3：平成26年度支部役員選出
4：平成26年度予算案審議 5：平成26年度事業計画審議
6：第53回全国研究発表大会(於：愛知工業大学)の準備について 7：その他
講演 16時40分から17時20分
「グローバル環境化における韓国の大学教育変貌」 愛知淑徳大学 鄭年皓氏
出席・欠席連絡、お問い合わせ先：中部支部事務局 鄭年皓 njung@asu.aasa.ac.jp

経営モデル研究部会のお知らせ

開催日予定日時：2014年5月24日(土) 15:00-17:00
発表予定者：浅倉 俊(東海大学)「人気が出るゆるキャラの特徴」
開催場所：東海大学 高輪キャンパス 1号館 3F 1308教室
連絡先：田畑 智章(東海大学) Tel.03-3441-1171 E-Mail:tabata@tokai-u.jp
金子 勝一(山梨学院大学) Tel.055-224-1337 E-mail:shoichi@ygu.ac.jp

地域システム研究部会のお知らせ

地域システム研究部会では、RIMOT(立命館大学 MOT 研究科 校友会)および立命館 MOT 研究科と三者共催での研究会を企画致しました。今回は、最後の巨大マーケットといわれるアフリカとはどういふところなのか。その巨大マーケットにどのように進出していけばよいのかについて、社会課題という切り口から明らかにしていこうとしております。本研究会は学会会員に限らず広く一般にも公開しております。MOTやアフリカにおけるビジネスに興味をお持ちの方など、お誘いあわせの上、ご参集ください。

日時：2014年5月24日(土)
14:00~16:30：研究会 16:30~17:00：立命館 MOT による研究科入試説明会
※研究会終了後、大阪キャンパス近郊にて懇親会
会場：立命館大学 大阪梅田キャンパス 演習室2

http://www.ritsumei.jp/accessmap/accessmap_office_osaka_j.html

※ 予定会場の定員の都合上、応募先着順 40 名とさせていただきます。

テーマ：1. 途上国市場への進出と事業化の困難 -ソーラーランタン@ケニアを事例として-

講演者：堀田隆之氏（パナソニック）

2. ベナン国の社会開発課題への取り組み報告-国際ボランティア+MOT 人材の視点から-

講演者：澤井研二（元 JICA 海外青年協力隊員，立命館 MOT）

応募方法：5月21日までに、田平 由弘（yoshihiro_tabira@yahoo.co.jp）までご連絡ください。

ヒューマン・リソース研究部会のお知らせ

開催日予定日時：2014年6月7日（土） 15：00-17：00

発表予定者：村山 誠（明治大学）・山下 洋史（明治大学）「アメーバ経営と BPR」

権 善喜（明治大学）・山下 洋史（明治大学）「レストランにおけるメニュー偽装問題に関する研究」

開催場所：日本大学 生産工学部 30号館 5F 小田部研究室

連絡先（幹事）：金子 勝一（山梨学院大学） Tel.055-224-1337 E-mail:shoichi@ygu.ac.jp

第 37 回東海ファジィ研究会（蒲研 2014）開催案内

恒例となりました、日本経営システム学会中部支部と日本知能情報ファジィ学会東海支部との共催行事「東海ファジィ研究会」を下記要領にて開催します。会場を蒲郡と日間賀島に固定して定着をはかった企画も 37 回目を迎えます。先生方と学生の発表が混在する気楽な 1 泊研究会です。ソフトコンピューティングだけでなく、経営システムに関するテーマも広く募集しております。多数ご参加ください。

主催：日本知能情報ファジィ学会東海支部

共催：日本経営システム学会中部支部 後援（予定）：蒲郡市

協賛（予定）：日本知能情報ファジィ学会各支部・各研究会，日本経営工学会中部支部，日本 OR 学会中部支部，教育システム情報学会東海支部，コンピュータ応用技術協会

日時：2014年8月3日（日）、4日（月）

会場：蒲郡市生命の海科学館蒲郡情報ネットワークセンター 〒443-0034 愛知県蒲郡市港町 17 番 17 号
TEL: 0533-66-1717 <http://www.city.gamagori.lg.jp/site/nrc/>

宿泊：三谷温泉「ホテル三河 海陽閣」 〒443-0021 愛知県蒲郡市三谷町南山 1-69
TEL: 0533-69-5335 <http://www.kaiyoukaku.com/>

招待講演：「人類の脅威としてのウイルス病と情報科学・計算化学：エボラ、エイズからデュアルユース問題へ」
岡本 尚 氏（名古屋市立大学医学部教授）

参加費：一般 2,000 円 学生 無料 宿泊費：12,000 円（懇親会費を含む）。東海ファジィ研究会では、研究会での討論を活発にするために、懇親会後も研究討論会の時間をもうけております。そのため、宿泊して頂くことを前提としておりますのでご理解をお願い致します。

発表・参加申込み：2014年7月18日（金）までに、研究会ホームページ（下記）よりオンライン登録をお願いいたします。申込みはホームページ左側の「発表・参加登録」メニューより登録が可能です。オンライン登録ができない方は、お手数ですが、経営システム学会側幹事小田哲久（oda@aitech.ac.jp）までご連絡ください。論文は、当日 40 部印刷してご持参いただきます。

その他：研究会ページ <https://sites.google.com/site/tokaifuzzy/conferences/gamaken2014> をご覧下さい。



日本経営システム学会

住所 〒169-0073 東京都新宿区百人町 1-20-3 バラードハイム 703

TEL03-3371-5324・FAX03-3371-5185

E-Mail:keieisys@hh.ij4u.or.jp